

穂北に輝く にぎりめし



令和3年度穂北中学校だより

2月号

校長

伊東 泰彦

穂北中HP



「さいと学」や「校則」についてオール西都で考える、

西都市中学校生徒フォーラム開催！

12月24日（金）、西都市内の全中学校の代表（生徒会役員等）が一堂に会し、来年度からの「さいと学」の内容や「校則検討」について研修や熟議を行いました。本校からも生徒会

代表や生活委員会の代表生徒など7名が参加しました。妻中学校の視聴覚室を会場に、中学生35名、教職員21名、市内外の社会人12名、妻高校生22名が参加し、熱い議論が交わされました。

『未来を創るのは私たち自身！』という意識のもと、午前中の研修では、校則検討の具体的な進め方や留意点について、日向市の大王谷中学生徒会や東京のNPOカタリバ、県弁護士会等から学びました。

午後は、「さいと学を通してどのような力をつけるべきか、そのためにどのような学びを行っていくべきか」について多様な視点から意見を絵と文字で記録するグラフィックコーディングにも穂北中生が挑戦しました。



オープニングトークの様子



妻高校の先輩や社会人の思い



グラフィックコーディングに挑戦する穂北中生

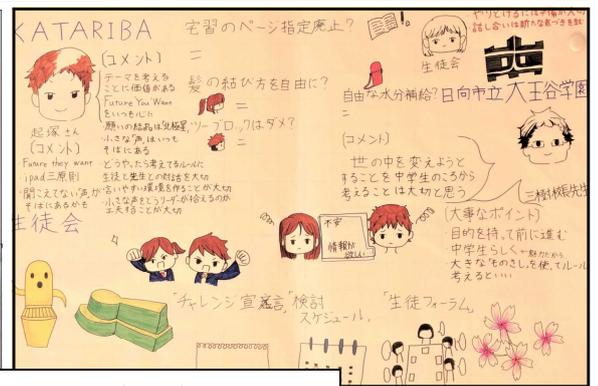
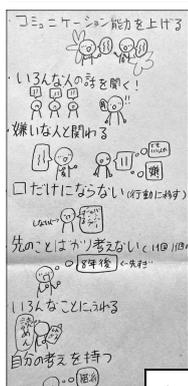


熟議の様子



生徒たちの意見 さいと学で どんなことがやりたいか

- ① 今後必要となる「対話力」をつけたい
- ② 失敗してもいいので様々なことに挑戦したい
- ③ 多くの人と出会いネットワークをつくりたい
- ④ 好奇心や個性を伸ばしていきたい



グラフィックコーディングによる記録

他、企画立案したい／視野を広げたい／社会貢献したい 等

↑ 先輩方と話す中で様々な意見が出てくるようになりました！

穂北づくり協議会の皆様、いつもありがとうございます！



恒例のしめ縄づくり

みんなで記念写真



▼講師の方々



12月19日、恒例の注連縄作りを行いました。注連縄は、天照大御神が岩戸隠れからお出まじになった際に、二度と岩戸に入れないように縄を張ったのが始まりと言われています。神域と現世の境界として、農耕文化の象徴であるわらを紬つてつくります。現代の生徒にとつて縄を紬うのは結構難しい作業ですが、3年生たちは一昨年に経験している

こともあり、かなり上手に作られています。地域の方々にも教えていただきながら、なんとか全員が注連縄を完成し、達成感を味わっていました。家に持ち帰り、お正月の注連飾りにした7ご家庭も多かったと思います。こうした伝統文化を傳承してくださる地域の皆様に感謝致します。

人権標語を作成しました



令和3年度
コロナに負けるな人権標語 入賞作品

最優秀作

- ありがとう 病院で働く みなさんへ (茶臼原小4年 岡元 貴博)
- 今はがまん 明るく未来は すぐそこに (穂北小6年 平野 心華)
- 気を抜くな 世界に笑顔 あふれるまで (穂北中3年 早田 凧沙)

優秀作

- マスクつけ えがおいっぱい のりきう (茶臼原小1年 浜砂 陽希)
- やってみよう みんなのために できること (茶臼原小5年 キルバート 紅聖)
- やめようよ コロナ差別は いじめだよ (穂北小4年 河野 希望)
- 笑顔だね マスクの下でも わかるはず (穂北小5年 喜多 華理奈)
- 思いこみ 先入観が 差別うむ (穂北中2年 瀧砂 陽和)
- 意味もない 「コロナ差別は やめましょう (穂北中3年 長谷川 椿)

- 気を抜くな 世界に笑顔 あふれるまで (3年 早田 凧沙)
- 思い込み 先入観が 差別生む (2年 濱砂 陽和)
- はなれても 近くにいるから 大丈夫 (2年 谷口 紗雪)
- 守りたい 心の底から 笑顔をね (1年 橋口 紗季)
- 信じるの その情報は デマかもよ (1年 黒木 柚稀)

新入生説明会を実施！

もうこんな時期…

1月19日、穂北小と茶臼原小の6年生と保護者の方々を対象に、入学説明会を行いました。学校紹介VTR、校長と生徒との対談形式による学校生活紹介、部活動主将によるプレゼンと自作動画を使った部活動紹介などを行い、穂北中の取り組んできた対話やICT活用の成果が発揮されました。30数名の新入生の入学を心待ちにしています。



対談形式で学校紹介



動画を使って部活動紹介



保健体育の授業で武道に取り組んでいます。



準備運動



はつけよい



なぎなたの練習風景

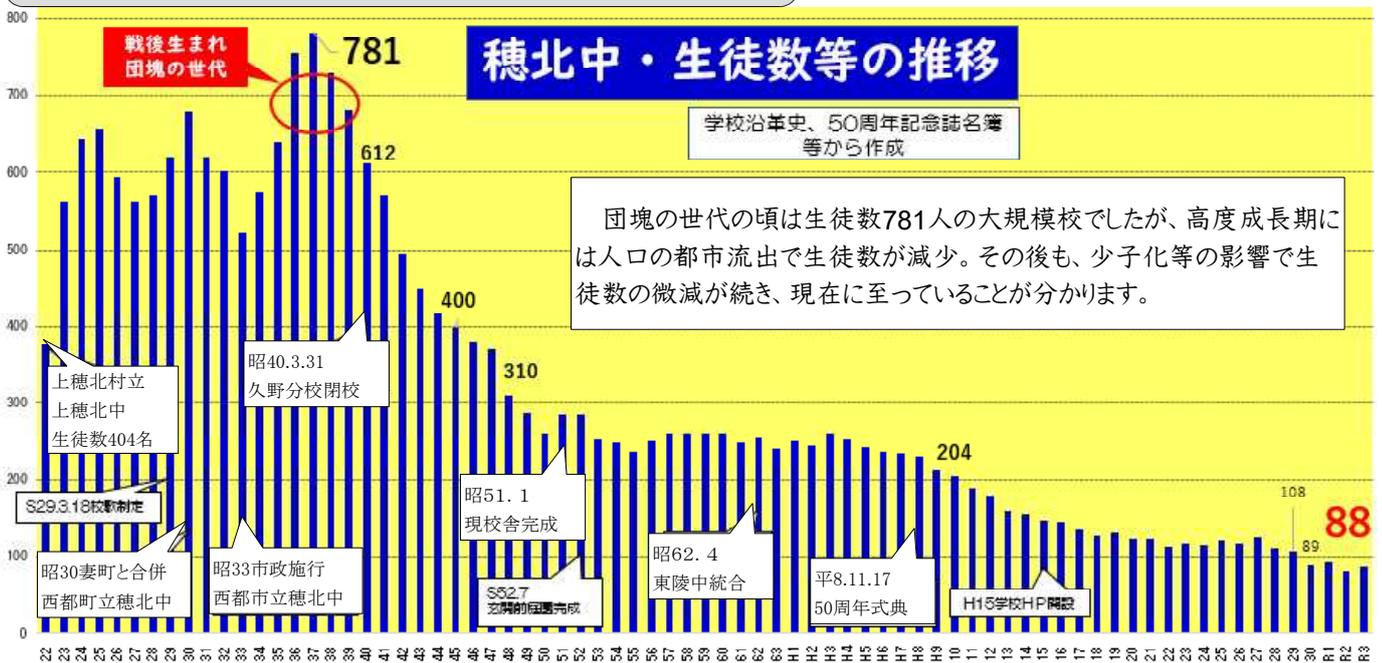


残った、残った



今年は県の武道推進事業を活用し、武道となぎなたを体育の授業で各4時間実施しました。専門の武田先生(相撲)と吉村先生(なぎなた)にお越しいただき、1・2年生が楽しも真剣に、武道に取り組みました。

穂北中の歴史を調べてみました



穂波から壽き田の里

学校史考

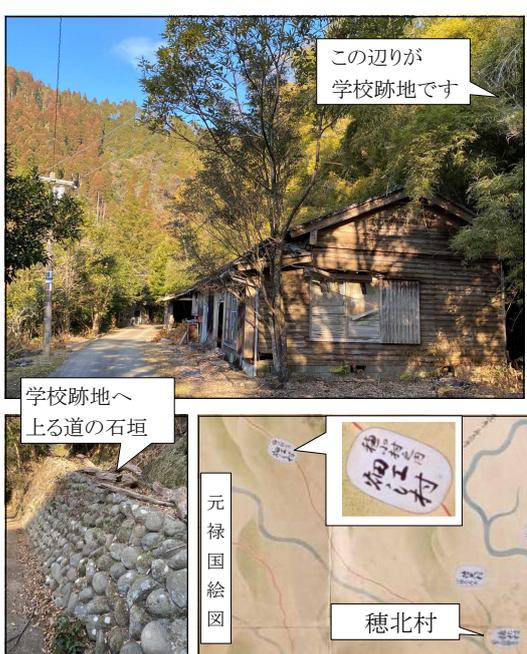
冬休みに校長室の史料を整理していると、様々な学校史を目にした。団塊の世代時には七八一名もの生徒がいる大規模校だったこと、東米良の東陵中統合、シンボルツリー・フエニックスの移植や現校舎の完成等々。だが、とりわけ気になったのが「久野の分校(昭和40年廃校)」の存在である。久野とは一体どの辺りで、どんな集落だったのか▼確認できる記録は、昭和初期に畑江から久野に小学校分教場が移転され、そこに穂北中の分校を併設したこと、生徒数は十名程度の規模だったことくらいである。学校経営案の校区図を見ると、杉安ダムの北西約5kmの場所に、久野と畑江という地名があった。江戸時代の国絵図(国会図書館アーカイブ)では、穂北村に続く北の集落は「畑江村」、更に大正時代の古地図(ひなごIIS)を見ると、穂北、畑江、岩井谷へ続く街道と集落が描かれており、移動手段が徒歩の時代ではそこが交通の要衝だったことが分かる▼地域の方に聞いてみると、竹尾集落から竹尾川上流の林道を進むと久野まで車で行けるといふ。軽トラで休日現地に向かってみた。竹尾集落から竹尾川方面への林道を上り始めると、すぐにスーパールン道のような風景になった。幅は細いが、小枝や落石はきれいに除去されていて気持ちのよい道である。竹尾から5kmほど上ると三段構えのきれいな滝に出会いその美しさに驚く。現王屋敷を通過し、そろそろ種田山頭火の「分け入つても分け入つても青い山」が頭の中を巡り出しそうになった時、きれいに積まれた石垣と静謐な墓地、2軒の廃屋が並ぶ日当たりのよい場所に辿り着いた。そこが久野であった(現王屋敷から約2km)▼道路の少し上方にテニスコートくらい平地が拓かれていて、そこが学校跡地だった。周囲の竹林は、そこで人々が暮らしたことを物語っている(どんなに山深くても竹が植えてあるのは人が住んでいた証である)。2つの石碑が建てられており、学校や集落の歴史を垣間見ることができた(下の資料参照)。高度成長期、生活の利便性向上に伴って山から中山間地へ、また地方から都市へと人口が移動した。今、再び人口減少社会到来によって学校の統廃合が進んでおり感慨深い。(校長 伊東泰彦)

冬休みに校長室の史料を整理していると、様々な学校史を目にした。団塊の世代時には七八一名もの生徒がいる大規模校だったこと、東米良の東陵中統合、シンボルツリー・フエニックスの移植や現校舎の完成等々。だが、とりわけ気になったのが「久野の分校(昭和40年廃校)」の存在である。久野とは一体どの辺りで、どんな集落だったのか▼確認できる記録は、昭和初期に畑江から久野に小学校分教場が移転され、そこに穂北中の分校を併設したこと、生徒数は十名程度の規模だったことくらいである。学校経営案の校区図を見ると、杉安ダムの北西約5kmの場所に、久野と畑江という地名があった。江戸時代の国絵図(国会図書館アーカイブ)では、穂北村に続く北の集落は「畑江村」、更に大正時代の古地図(ひなごIIS)を見ると、穂北、畑江、岩井谷へ続く街道と集落が描かれており、移動手段が徒歩の時代ではそこが交通の要衝だったことが分かる▼地域の方に聞いてみると、竹尾集落から竹尾川上流の林道を進むと久野まで車で行けるといふ。軽トラで休日現地に向かってみた。竹尾集落から竹尾川方面への林道を上り始めると、すぐにスーパールン道のような風景になった。幅は細いが、小枝や落石はきれいに除去されていて気持ちのよい道である。竹尾から5kmほど上ると三段構えのきれいな滝に出会いその美しさに驚く。現王屋敷を通過し、そろそろ種田山頭火の「分け入つても分け入つても青い山」が頭の中を巡り出しそうになった時、きれいに積まれた石垣と静謐な墓地、2軒の廃屋が並ぶ日当たりのよい場所に辿り着いた。そこが久野であった(現王屋敷から約2km)▼道路の少し上方にテニスコートくらい平地が拓かれていて、そこが学校跡地だった。周囲の竹林は、そこで人々が暮らしたことを物語っている(どんなに山深くても竹が植えてあるのは人が住んでいた証である)。2つの石碑が建てられており、学校や集落の歴史を垣間見ることができた(下の資料参照)。高度成長期、生活の利便性向上に伴って山から中山間地へ、また地方から都市へと人口が移動した。今、再び人口減少社会到来によって学校の統廃合が進んでおり感慨深い。(校長 伊東泰彦)

▼三段落としの滝



▼久野集落の風景



▼学校跡地の石碑(昭57建立)

明29.5 上穂北村立尋常高等小学校畑江分教場設置
 昭2.4 此の地に新築移転
 昭22.4 上穂北村立中学校分教場として併設
 昭37.4 電灯設置
 昭38.4 テレビ設置
 昭38 過疎現象により生徒数減少
 昭40.3 中学校閉校
 昭40.4 電話設置
 昭41.3 小学校閉校

石碑記載事項

【2月の主な行事】

- 2日…県立高校推薦入試
- 3日…キャリアみらいゼミ(中1)
- 7日…学校評議員会
- 9～14日…教育相談
- 16～15日…定期テスト
- 18日…薬物乱用防止教室
- 22日…参観日、立志の集い(2年)

【3月の主な行事】

- 4日…代議員会
- 8～9日…県立一般入試
- 11日…送別行事
- 16日…第75回卒業式
- 18日…県立・合格発表
- 25日…終了式
- 30日…離任式

最新詳細金刺分懸圖

